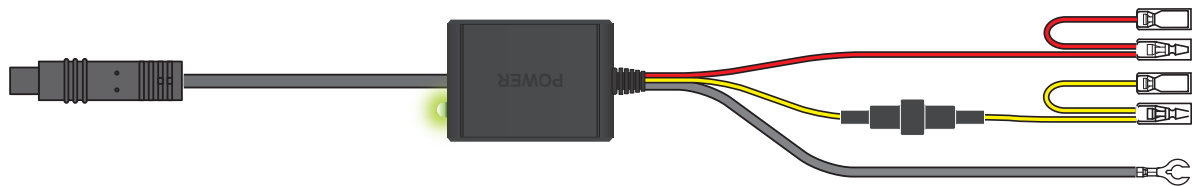


駐車監視録画ケーブル RDPC-2



常時電源ケーブルを使用すると、車両バッテリーの消費電力が多くなりますので、ご注意ください。
また、常時電源ケーブルの接続を誤ると、バッテリー上がりの原因となりますので、ご注意ください。

azur 製品 適合機種

ご覧になりたい商品の型番をクリックしてください

SRM-1

Regeo 製品 適合機種

ご覧になりたい商品の型番をクリックしてください

DZ-520G

DZ-520GR

SRZ-920

- 上記機種以外に本製品を絶対に取り付けしないでください。重大な事故や火災の原因となる可能性があります。
- すべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 本製品を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

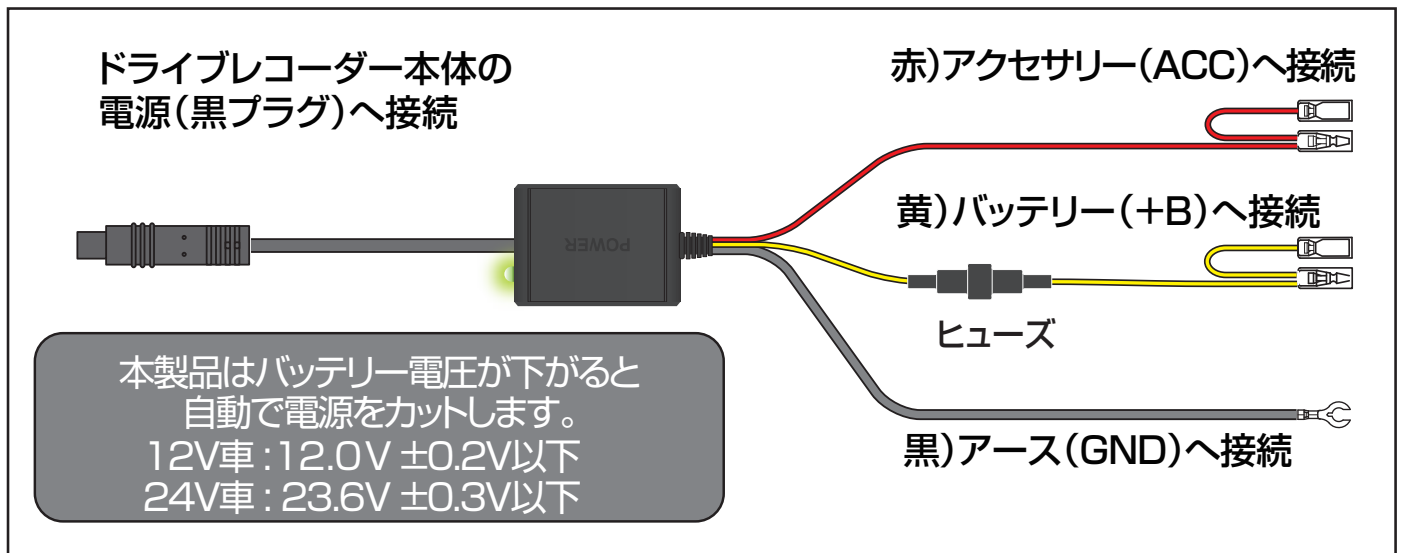
ご注意/接続方法について

<ご注意（あらかじめご了承ください）>

常時電源ケーブルご使用の場合、車両のバッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。

- ・次の方は、車両バッテリー上がりの原因になりますので、常時電源ケーブルのご使用には十分ご注意ください。
 - 毎日走行しない場合。
 - 1日の走行時間が1時間以下の場合。
 - 車両バッテリーを1年以上使用している場合。
- ※上記はあくまで目安となりますので、バッテリーコンディションを確認するようにしてください。
- ・本製品を使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負い兼ねます。
- ・本製品を使用する際、バッテリーコンディションにより、録画時間(録画回数)が少なくなる場合があります。
- ・車両のシステム(ハイブリッドシステムや電気自動車等)によっては、期待した動作にならない場合があります。

接続方法について



⚠️ ご注意

- 配線の前に、必ずエンジンキーが抜かれていることを確認してください。またショート等による事故防止のため、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。
- 本製品の取り付け・配線には、専門技術が必要となりますので、装着は販売店または、専門技術のある方にご依頼ください。
- ドライブレコーダー本体の取扱説明書もよくお読みください。

動画記録方法 SRM-1

常時電源ケーブル接続時の動作について

▶ 駐車監視の設定が[オフ]の場合:

エンジンを停止すると、本機の電源がオフとなります。駐車監視モードには切り替わりません。

▶ 駐車監視の設定が[高]または[低]の場合:

エンジンを停止すると、一度電源がオフとなり、その後、駐車監視モードに自動的に切り替わります。

駐車監視モード中、車両のバッテリー電圧が一定の電圧に降下すると（※）、車両バッテリーからの電源供給を停止し、引き続き、内蔵バッテリーでの駐車監視モードに自動的に切り替わります。内蔵バッテリーが空になると本機の電源がオフとなり、駐車監視モードは終了します。

※12V車：12V/ 24V車：23Vで電力供給を止めます。

※駐車監視の設定の変更につきましては、本体取扱説明書を参照ください。

(本体取扱説明書→P.46「設定メニュー画面」~P.47「設定メニュー」参照)

常時電源ケーブル使用時の本体「MODE」ボタン操作について

常時電源ケーブルを使用する場合、本体「MODE」ボタンの動作が、製品の仕様上、シガー電源アダプター使用時と異なります。

- 電源オフ時：短押し/長押し=電源オン
- 駐車監視モード時：短押し/長押し=電源オン
- 駐車監視モード録画時：長押し=画面点灯

※本体各ボタンの動作詳細につきましては、本体取扱説明書を参照ください。

(本体取扱説明書→P.12「各部の名称と働き」参照)

動画記録方法 DZ-520G/DZ-520GR

駐車監視モード(エンジンOFF)

駐車監視録画

※駐車中の衝撃感知は本体のみで作動します

本機は、別売品の常時電源ケーブル(DRC-P05)を接続することにより、エンジンオフ後の駐車中でも衝撃を感知すると衝撃感知録画を行う「駐車監視モード」が搭載されています。

[駐車監視時の衝撃感知録画について]

車両エンジンをオフ(ACCオフ)すると、シャットダウンメニュー画面が表示されます。

「駐車監視」をタッチすると、約1分後に駐車監視スタンバイ状態となります。

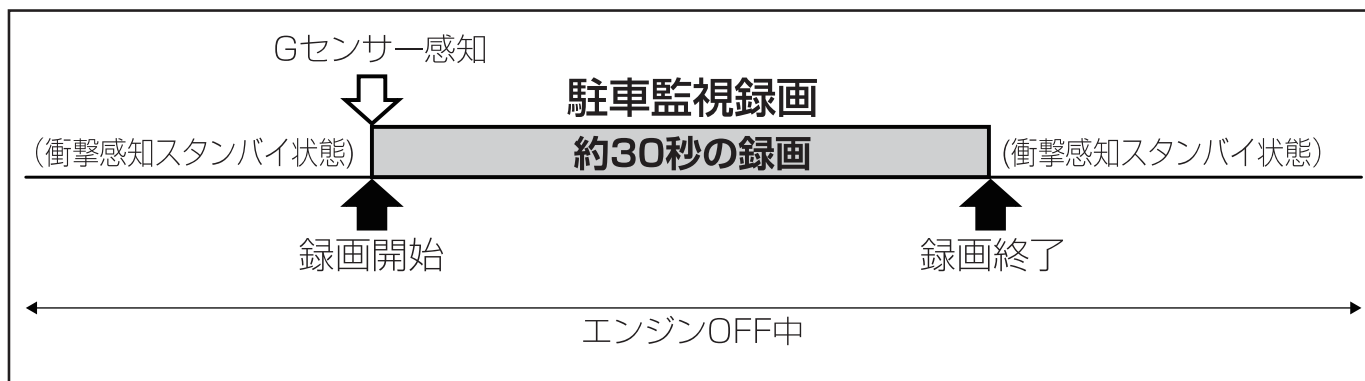
駐車監視スタンバイ状態中、搭載されたGセンサーが衝撃を感知すると、自動的に駐車監視録画をおこないます(約30秒間)。

録画終了後は、再び、駐車監視録画のスタンバイ状態に移行します。

車両エンジンを始動(ACCオン)すると、本機の電源がオンとなり、常時録画が開始されます。

●駐車監視録画

- 1.エンジンOFFする
- 2.モニター画面に表示されるメニューの[駐車監視]をタッチする
- 3.画面表示が消える
- 4.約1分後に駐車監視スタンバイに移行する
- 5.衝撃を感知すると、「ピン」というBEEP音が鳴動し、約30秒間録画を行う



[緊急録画ファイルについて (駐車監視モード時)]

駐車監視録画は衝撃を感知してから録画を行い、その記録データを1ファイルとして保存します。衝撃を感知してから録画を行います。感知前の録画は行いません。

※駐車監視録画中に再度衝撃を感知した場合、延長録画はされません

[駐車監視モードからの復帰]

駐車監視中、エンジンをオンすると、駐車監視モードが解除され、通常起動します。

※詳細は、DZ-520GまたはDZ-520GRの製品マニュアルP31「動画記録の駐車監視モード」をご確認ください。

動画記録方法 SRZ-920

常時電源ケーブル接続時の動作について

▶ 駐車監視の設定が【オフ】の場合:

エンジンを停止すると、本機の電源がオフとなります。駐車監視モードには切り替わりません。

▶ 駐車監視の設定が【オン】の場合:

衝撃感度設定を「低」「中」「高」のいずれかに設定した場合

エンジンを停止すると、一度電源オフとなり、その後、駐車監視モードに自動的に切り替わります。

通常録画時と別に駐車監視モード用の衝撃感度設定が可能です。

初期値は、「中」感度になっています。ご使用状況に合わせて「低」「中」「高」の設定してください。

駐車監視モード中、車両バッテリー電圧が一定の電圧に低下すると(※)、車両バッテリーからの電源供給を停止し本機の電源がオフとなり、駐車監視モードを終了します。

※12V車:12V±0.2V / 23.6V±0.3Vで電力供給を停止します。

※駐車監視録画については、本体取扱説明書を参照してください。
(本体取扱説明書→P.44「駐車監視録画」参照)

※駐車監視の設定変更については、本体取扱説明書を参照してください。
(本体取扱説明書→P.48「設定メニュー(つづき)」参照)

常時電源ケーブル使用時の本体キー操作について

常時電源ケーブル使用時の駐車監視モード時の本体キー動作は以下の様になります。

- MODEボタン:短押し/長押し=無効
- リセットボタン:短押し/長押し=本体再起動

駐車監視モード中にリセットボタンを押して本体再起動させた場合

- バッテリー電圧で本体が起動していますので、バッテリー上がりを防ぐ為、一度エンジンをオンしてからエンジンをオフしてください。
- MODEボタン長押しによる電源オフした場合は、駐車監視モードを停止します。

本体取扱説明書P45「駐車監視録画(つづき)」を参照